

「学芸を修めて人類のために」 - 地球市民教育校としての大妻中野
“Arts for Humankind” for Nurturing Global Citizenship

1. SGH ネットワーク校 & ユネスコ・スクールとして - 主体的・探究的な学び

- ・ 帰国生がその経験を十分に生かせるグローバル課題探究・プロジェクト型の学び
- ・ 情操教育とサービスマナーを通して他者・多様性への共感力・非認知スキルの修得
- ・ SDGs と地球市民性をキーワードに、自ら課題を設定し、チャレンジする活動
- ・ フランス語とフランコフォニー、複言語主義、多文化理解へのアプローチ



一人ひとりの小さな行動で
世界はきっと、変えられる。

2. 帰国生教育 23 年目の実績 “多様な帰国生に対応する - 違いと協働する力

- ・ 全校生徒の 12%以上が帰国生(約 140 名の帰国生が在籍)帰国生在留国は 35 か国
- ・ 英語圏現地校・インター校・日本人学校出身が、それぞれ 1/3 という多様性
- ・ 中学・高校での海外帰国途中編入にも柔軟に対応。過去10年間で約90 名が海外からの編入
- ・ 国語(日本語、漢字)、社会(日本地理、歴史)科目への不安を解消するトータルサポート、個別指導体制

3. GIS カリキュラムとグローバル化に対応した外国語教育推進研究(文部科学省事業) - 言語・ICT 教育

- ・ 英語は 4 技能・5 領域(Reading, Listening, Writing と Speaking 「発表する力」+「議論する力」)を意識
- ・ IELTS Master Class / IELTS 公式テスト校内実施など 世界で通用する具体的な英語力目標設定
- ・ 日本国連協会とのタイアップによる外国語発表会や English / French Presentation Contest の実施
- ・ 文科省によるフランス語教育推進研究で、大東文化大学、早稲田大学、慶応義塾大学などの先生方と連携
- ・ 学校設定科目 GIS (Global Issue Studies)で、グローバル課題・SDGs、IT スキルについて探求的に学ぶ

4. Global Leaders Course - 論理的に発信する英語・複合的な視点を得るフランス語 - 複言語・複文化

- ・ 中1~高1の4年間:週6時間の英語クラス + 複言語主義としてのフランス語クラス(中1~高3まで継続)
- ・ 英語授業は、 α / β クラスへ2分割 習熟度少人数制。レベルに対応して、より一層の英語力伸長
- ・ 週4時間 ネイティブ教員担当のクロス・カリキュラム / 週2時間 日本人教員担当のアカデミック・ライティング
- ・ 高2、高3は、最大週12時間の英語授業 English for Academic Purpose (アカデミック英語)実施
- ・ IELTS, TOEFL iBT, TEAP+仏検, DELF への対策講座と志望理由エッセイ指導。国内難関大、海外大に対応

5. Extra-Curricular Programs - Beyond School 学校を越えた国内外プログラムへの積極参加

- ・ Frontier Project Team: 課外での学年横断型の SDGs に向けた生たち自身による課題探究プロジェクト
- ・ Study Abroad Program: 世界 8 か国 20 校以上と提携したチーム(学期)、1年留学制度
- ・ Beyond School: 校外プログラム・コンテストへの積極参加 essay, speech, presentation コンテストなど
- ・ Model UN (模擬国連)活動: 英語でのリサーチ、プレゼン、ネゴシエーション、模擬国連大会出場
- ・ HLAB - 国内外の大学生、社会人と協働し進路を考える国際プログラム、Harvard, Stanford などの学生が創設
- ・ 「トビタテ! 留学 JAPAN」(官民協働留学支援プロジェクト)への積極サポート(多数のトビタテ! 生)

6. 世界 12 か国・地域の学校、大学、教育機関との連携による留学と International Programs

- ・ 短期、学期、セメスター、1年留学 - 様々な留学プログラム (UCL Japan Youth Challenge 2021 から参加)
- ・ 英語圏&非英語圏での交流と留学プログラム提携 - アメリカ、カナダ、イギリス、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド、フランス、ドイツの中等学校、語学学校との連携と留学
- ・ タイ YMCA との連携によるタイ・チェンマイフィールドワークの実施
- ・ マレーシア、台湾、京都・奈良の 3 か所で展開する修学旅行としてのグローバルスタディツアー
- ・ 韓国のユネスコ・スクールと地球市民教育での連携・ディスカッション

- 多国籍な教員チーム(アメリカ人、イギリス人、カナダ人、フランス人、中国人など 10 名) とグローバル・チューター(帰国生の卒業生大学生)が、帰国生の教科指導、英語、フランス語検定試験、進路指導、大学受験などをトータルサポート

7. 「帰国小学生英語保持講座」を無料で実施 - 帰国生英語保持の第一人者、服部孝彦教授のアドバイス



本校では帰国生小学生(女子)のために無料で、英語保持教室を開講しています。担当は本校のネイティブ専任教員。2006年から実施している本校の帰国生教育取組の一つ。毎週土曜日10:50 - 12:40での実施です。Reading & Writing, 英語でのPresentationなどのアカデミックな内容も取り入れて、将来の英語力の伸長に必要な学習を行います。帰国後、英語保持のために何か取り組みを探していらっしゃる方がありましたら、ぜひ連絡を下さい。詳細は、global@otsumanakano.ac.jp までどうぞ。

- 帰国小学生英語保持講座 受講生のメッセージ - 早稲田大学国際教養学部 M. T. さん (本校 GLC 帰国生卒業生)

両親から大妻中野のホームページに帰国小学生英語保持講座があることを聞き、当時、小学6年生の私は、すぐに始めたい、と自分から申し出ました。アメリカから帰国後、公立の小学校にいた私は英語を話す機会が無く、英語に飢えていたのだと思います。緊張しながらクラスに入ると、先生がとても優しく、フランクに話しかけてくださり、すぐにクラスに馴染むことができました。このクラスでは皆が意見を持ち、お互いを認め合う環境が整っていたのでとても居心地の良い場所に感じました。この講座を受けたことで帰国後の英語能力維持にかなり効果があったと感じています。

クラスの友人達とそしてユニークな先生と、授業だけでなくバスケットボールやゲームをしたり、またハロウィンやバレンタインなどの行事も楽しんだりと心に残る思い出はたくさんあります。興味深い授業もあり、テイラー・スウィフトの曲を聴きながらディクテーションをしたことなど。音楽を聴きながら単語を理解するこのスタイルは、当時の私にとってとても斬新で記憶に残っています。

8. 一人一人の学習履歴に対応する編入制度 - 急な帰国転勤にも対応、編入試験日なども柔軟に

- ・ 編入は高校3年次4月入学までOK - 受験は3月、7月、12月の学校会場+10月シンガポール、オンラインでも対応
- ・ 出願書類は、① 編入試験申込書、② 在籍校成績証明書、③ 保護者在留証明書
- ・ 本校在籍中に再び海外へ、そして帰国への場合も原則、受け入れます
- ・ 学科試験は国語、数学、英語3教科、それぞれ30分で編入希望学年と学習履歴に応じた基本的な内容。
 - 中学は英検2級以上、高校は英検準1級以上取得者は、英語試験を免除の上、編入を優遇します。英検以外の英語4技能検定試験(TOEFL, TOEIC, IELTS など)も考慮しますので詳細はお問い合わせ下さい。
- ・ 面接は保護者同伴。自己アピール力を重視します。英語圏現地校、インター生は英語でのインタビュー実施。

9. 帰国生卒業生からのメッセージ

A. I. さん - アメリカ現地校から本校へ。現在はイギリスで教員 -

英語は現地の小学生レベルだった私は、大妻中野で、自分で英語を学んでいく「基盤」を作って貰ったんだと今更ながらに思います。単なる語彙力ではない、その基盤があるからこそ、大学でも、英語に関して積極的に関わり、運良くイギリスの日本人学校に勤められたと思います。イギリスでの仕事の間に、英語ができるようになり、またヨーロッパの国々を見たりなど、とても良い経験をしています。しかし、今、振り返ると自分は、とんでもない生徒でしたね！今では生徒に「ちゃんと先生の話聞きましょ」なんて偉そうに言ってますが、私が今中学時代の自分を見たら「とんでもない生徒が来た！やばいぞ!」と思うでしょう。帰国生の皆さん、どうぞ、自分への自信を失わず、かつ英語へ自信過剰にならず、しっかりとコツコツと学習を続けてください。それが、帰国生としての経験を将来へ活かすことに繋がります。

N.T. さん - アメリカ現地校から本校へ。現在は、埼玉医科大学医学部医学科学生 -

私はアメリカ ルイジアナ州に小5(4月)から中3(6月)までの4年間、滞在しており、中3の2学期から大妻中野に編入しました。大妻中野に編入した直後は、友達ができるのか、勉強はついていけるのか、などと不安でいっぱいでした。しかし、大妻中野では帰国生などの海外経験を持つ生徒たちがたくさんおり、すぐに打ち解けることができました。多くの皆さんが心配でたまらないと感じているかと思いますが、本校の生徒たちは明るく、優しい人たちが溢れているので安心して下さい！皆さんの中には、海外で身に付けた英語力を伸ばすために既に色々と考えている方も多いことと思います。大妻中野のGLCの英語授業では、英語4技能を確実に身につけられるべく授業や課題が課されるので、英語力を維持するだけでなくさらなる飛躍が見込まれると思います。帰国時は英検2級レベルでしたが、高2には英検1級を取得することができました。英検、IELTS、TEAPなどの資格取得のバックアップも充実していますので、安心してチャレンジしてください！

前述の授業以外にも、大妻中野には英語力を伸ばすことのできる部活動や同好会が豊富にあります。編入してすぐ私は華道部に入学しました。海外で日本の伝統文化に感銘を受けていたので、華道を習いたいと思ったからです。初めてだったので、流派特有のルールや使用するものの名称を知るととても新鮮で楽しかったです。華道を学んでいく過程で、お免状をいただけることもモチベーションにつながりました。